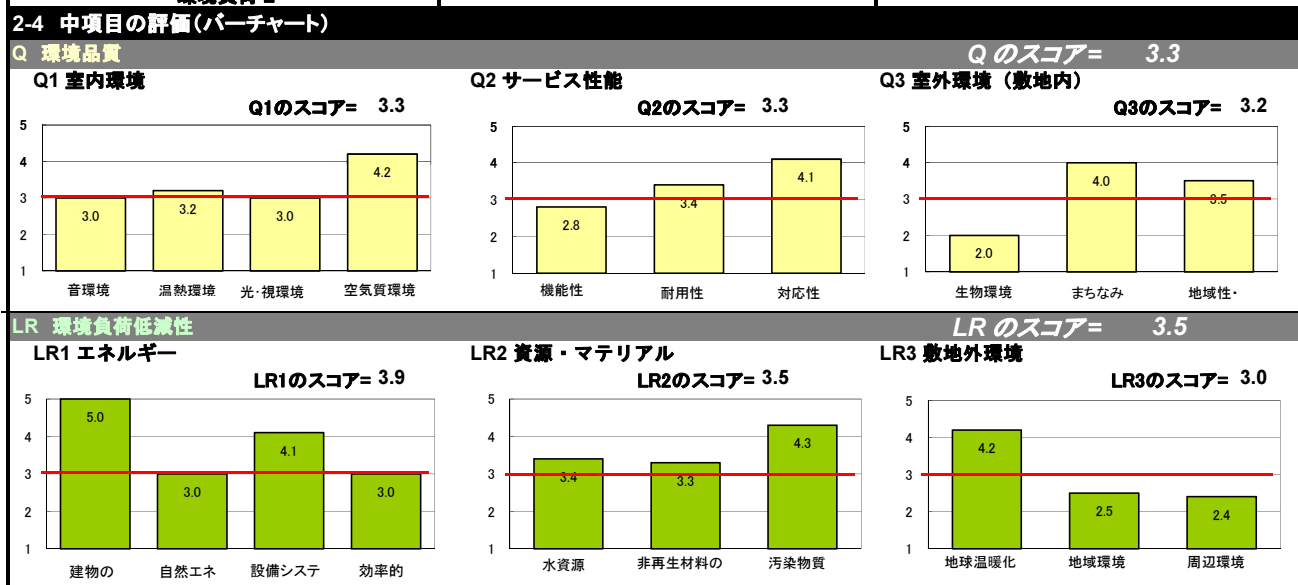
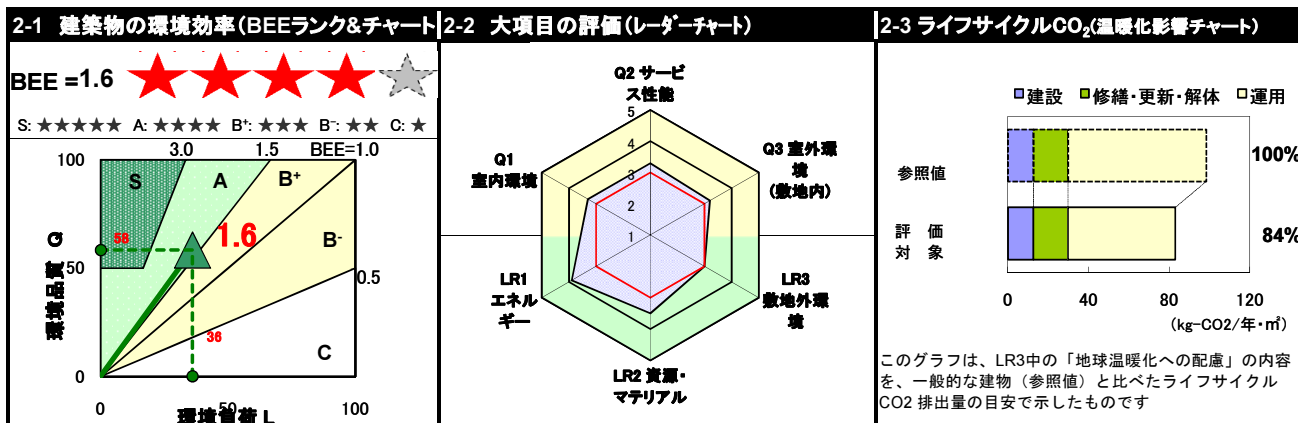


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	物質-細胞統合研究棟	階数	地上4階、地下1階	
建設地	京都府京都市左京区吉田本町36番	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	0 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	0 時間/年	
建物用途	学校、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2011年10月 予定	評価の実施日	2009年11月1日	
敷地面積	162,270 m ²	作成者	神先誠司	
建築面積	643 m ²	確認日		
延床面積	3,050 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
多用途で豊かな交流が生まれるキャンパス、地域に開かれたキャンパス、他大学や周辺施設との連携を持ったキャンパスを目標とし、計画をおこなった。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
断熱性能を高めるとともに、自然換気の配慮を行った。	バリアフリー、耐震性の配慮を行った。	まちなみ、景観への配慮を行った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ計画をおこなうとともに、運用においても、環境負荷の低減に努めるものとする。	再生資源の活用、有害物質を含まない材料の使用に努めた。	関係法令を遵守し、敷地の緑化等をおこなった。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される